

真宗大谷派 京都教区 推進員連絡協議会

2025年度総会

期日 2025年7月17日（木）
時間 午前10時から午後12時
場所 京都教区会館2階 大講堂

— 教区テーマ —

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

2025年度 京都教区推進員連絡協議会総会日程

日 時 2025年7月17日(木) 午前10時～午後12時
場 所 京都教区会館 2階大講堂

1、開会式

開会の辞

- イ、真宗宗歌 一番のみ
- ロ、挨拶 会長 堀江 勇夫
- ハ、来賓挨拶 京都教務所長 宮戸 弘

2、議 事

イ、議長選出

ロ、総会議題

- 議案第1号 2024年度事業報告
- 議案第2号 2024年度収支決算報告
会計監査報告
- 議案第3号 2025年度事業計画(案)
- 議案第4号 2025年度歳入・歳出予算(案)
- 議案第5号 規則の運用申し合わせについて

採 決

ハ、議長退席

3、報告事項

「新組織になった京都教区推連協についての説明会」経過報告と今後の予定について
その他

4、閉会の辞

5、恩徳讃

2024年度 京都教区推進員連絡協議会 事業報告

1. 研修会関連

趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
(1)総会研修会 総会に合わせて研修会を開催する。改編初年度につき未実施。	教区内 推進員	—	—	—
(2)特区・地区研修会 推進員を中心とした聞法場を開く。 毎年、特区+3地区で開催。今年度は改編初年度につき2地区での開催となった。 参加者数 ・湖東地区 63名 ・若狭地区 87名 ・長浜特区 109名	教区内 推進員 一般	湖東地区 日野町 わたむき ホール虹	2025/04/14	竹中 慈祥
		若狭地区 サン・サン ホーム小浜	2025/05/25	榎山 正樹
		長浜特区 長浜別院	2025/06/8	保木 悦雄
【決：279,029円】				
(3)真宗同朋の会 全国交流研修会 第29回 真宗同朋の会 全国交流研修会を、当番教区として主催。第51回近畿連区同朋の会推進研修会として併催。講師は真城義磨師。推進員の原点に立ち返り、同朋会館で開催。また、江州音頭保存会の方により「東本願寺同朋の会音頭」を作詞。主催教区として郷土の文化を紹介する。	全国推進員 教区駐在 教導 計116名	真宗本廟 同朋会館	2024年 10/9～11	真城 義磨
【決：40,000円】				
(4)推進員再上山奉仕団 推進員の原点の一つである奉仕団を企画し上山する。出会いと交流の機会をつくり、つながりを深める。改編初年度につき未実施。	教区内 推進員	真宗本廟 同朋会館	—	—

2. 会報制作事業

(1)会報発行 機関紙『光雲』を発行。広域教区において、誌面による報告・連絡を行う。毎号3,500部発行。	教区内 推進員 全寺院	—	発行日 2024/10/01 2025/01/01 2025/05/01	—
【決：234,085円】				
(2)全国推連協会報誌『羅網』 全推協より会報誌『羅網』を購入（毎号3,500部）、発送。	教区内 推進員 全寺院	—	発行日 2024/09/01 2025/01/01 2025/05/01	—
【決：330,140円】				

3. 会議関連

<p>(1)総会 教区改編の経過報告と、新しくなった教区推進員連絡協議会（以下、推連協）についての説明を行った。役員選出、活動方針、2024 年度事業計画、歳入歳出予算案について議決。</p>	教区推連協 役員・代議員	京都教務所	2024/08/06	—
【決：74,530 円】				
<p>(2)役員会 研修会の計画、機関紙「光雲」についての打ち合わせ、新しくなった教区推連協についての説明会について企画、準備などを行った。 2025 年 4 月 15 日に京都教務所にて組長説明会を実施。今後、各地区・組を巡回して実施予定。</p> <p>【説明会】 2024 年 10 月 16 日 近江第 25 西組 組長訪問 10 月 19 日 近江第 26 組 組長訪問 10 月 23 日 近江第 25 東組 組長訪問 11 月 17 日 近江第 26 組 組長訪問 2025 年 3 月 27 日 湖西地区役員会 4 月 15 日 全組長説明会 5 月 22 日 教務所長・次長懇談会 5 月 26 日 湖西地区役員会 出席</p>	役員	京都教務所	2025/01/30 2025/03/13 2025/04/15 2025/05/16 2025/05/22	—
<p>(3)常任委員会 研修会の計画準備、機関紙「光雲」の編集、新しくなった教区推連協についての各地区・組巡回説明会についての協議などを行った。</p>	役員 常任委員	京都教務所	2024/10/11 2024/11/08 2024/12/05 2025/02/21 2025/04/03 2025/06/18	—
<p>(4)地区代表委員会 ・特区、地区の代表との連絡協議を行った。 ・常任委員会で検討された内容の確認と共有。長浜特区と 8 地区の代表との連絡協議を行った。 特区・地区代表者との連絡協議の場を設け、教区⇔特区・地区⇔組の連携の強化を目指した。</p>	役員 常任委員 地区代表委員	京都教務所	2025/06/18	—
会議費(2)+(3)+(4)=【決：102,375 円】				

2024年度 京都教区推進員連絡協議会 歳入・歳出決算報告書
令和6年7月1日～7年6月30日

勘定科目	2024年度予算額 (令和6年)	2024年度決算額 (令和6年)	対予算増減額 (決算額-予算額)	摘要
01 前期より繰越金	321,603	321,603	-	
02 年会費	900,000	829,000	-71,000	普通預金期首残高(旧京推協より) 1千円×8229名(旧京推協より)
03 助成金	1,050,000	1,050,000	-	京都教務所(一般会計69万円・大会予算20万円)・近畿連区(全国・連区大会20万円)より
04 交流研修会補助金	900,000	900,000	-	全推連協からの全国大会 準備年度45万円・当年度45万円
05 特別会費	3,600,000	2,214,300	-1,385,700	第29回全国大会参加費107名・地区・特区研修会参加費8.6万円
06 雑収入	420,397	248,164	-172,233	同朋会館全国大会団体割戻金18万円、旅費助成金6.7万円、預金利子等
07 その他勘定繰入金	1,000,000	1,000,000	-	旧長浜推連協より移管金
08 各組負担金	-	-	-	
合 計	8,192,000	6,563,067	-1,628,933	

勘定科目	2024年度予算額 (令和6年)	2024年度決算額 (令和6年)	対予算増減額 (決算額-予算額)	摘要
01 総会費	150,000	74,530	-75,470	交通費、総会諸費
02 会議費	150,000	102,375	-47,625	各種会議の諸費用
03 事務費	150,000	69,169	-80,831	各種書類等の作成・印刷・北'-代等
04 通信費	70,000	42,673	-27,327	各種通知文書発送料、切手代等
05 広報費	700,000	564,225	-135,775	「羅網」購入代金、機関誌「光雲」印刷、発送料(各3.5千部・年3回)
06 旅費交通費	300,000	318,578	18,578	三役会、常任委員会、地区・特区代表者会議等の旅費
07 負担金	30,000	30,000	-	全推連協3万円
08 教区研修費	500,000	279,029	-220,971	地区・特区研修会費(湖東・若狹・長浜)
09 近畿連区交流研修費	-	-	-	全国推連協交流研修会併催のため出費なし
10 全推連協交流研修費	5,070,000	2,997,260	-2,072,740	全国推連協交流研修会開催費(同朋会館107名分・大会諸経費)
11 調査研究費	100,000	63,223	-36,777	各組推協・同朋の会立ち上げ支援等
12 雑費	10,000	3,240	-6,760	送金手数料等
13 役職者手当費	150,000	150,000	-	会長4万円 副会長2万円×2 会計2万円 常任委員1万×4 監事5千円×2
14 予備費	812,000	-	-812,000	不測の出費に備える
15 その他勘定繰出金	-	334,075	334,075	全推連協へ全国大会残金返金
16 特別事業積立金	-	-	-	特別事業に対する積立金(次年度より廃目)
費用計	8,192,000	5,028,377	-3,163,623	
17 次年度へ繰越額	-	1,534,690	1,534,690	普通預金期末残高と一致
合 計	8,192,000	6,563,067	-1,628,933	

2025(令和7)年6月19日現在、上記のとおり決算報告いたします。

京都教区推進員連絡協議会 会長

堀江 勇文

井本 敏

敬 印

監査報告書

2025(令和7)年6月19日、京都教務所において、歳入歳出決算書および諸帳簿の提出をもとめ、

入念に調査した結果、何れも適正且つ正確に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。

2025(令和7)年6月19日

監事

宇野 茂嗣

監事

古川 清

印

第29回真宗同朋の会全国交流研修会 収支決算書

期間：2024年10月9日から11日

会場：同朋会館

収入総額 3,515,300 円也

支出総額 3,181,225 円也

差引残高 334,075 円也

収入の部

単位 = 円

項目	収入額	備考
京推連協	40,000	京都教区推進員連絡協議会より
近畿連区助成金	200,000	近畿連区推進員連絡協議会より
全推協補助金	900,000	前年度45万円・当年度45万円
参加者徴収金	2,128,300	¥20,000- × 98名・¥18,700- × 9名
同朋会館割戻金	180,000	同朋会館より団体割戻金
同朋会館旅費補助	67,000	同朋会館より規定補助者対象者
収入合計	3,515,300	

支出の部

単位 = 円

項目	支出額	備考
同朋会館冥加金	2,079,700	冥加金¥1,952,000-・米代¥127,700-
同朋会館会場費用	347,338	2会場中継費・備品使用料
講師お礼	70,000	真城義麿氏(大谷学園専務理事のため給与より源泉徴収)
助言者交通費	20,000	1万円 × 2名
助言者お礼	46,822	2名 × 2万円 (内源泉徴収¥3,411- × 2)
地域文化紹介費	100,000	東本願寺音頭出演お礼
地域文化紹介費	100,000	創作費
集合写真代	166,400	中村写真場 128枚 × ¥1300-
会議費	25,011	開催準備にかかわる役員食費
事務費	29,045	封筒・資料作成
通信費	12,649	案内文・集合写真発送料
旅費交通費	114,540	役員会・江州音頭出演者交通費
旅費補助	67,000	同朋会館規定対象者
雑費	2,720	送金手数料
支出合計	3,181,225	

差引残高¥334,075-については全国推進員連絡協議会会計に繰入いたします。

2024年11月30日

京都教区推進員連絡協議会

会計 井本 徹



上記収支決算について、金銭出納帳、証拠書類等を監査したところ、適正に処理されていることを認めます。

2024年11月30日

京都教務所主計 矢木 春香



2025年度 京都教区推進員連絡協議会 事業計画案

1. 研修会関連

趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
(1)総会研修会 総会に合わせて同日午後に研修会を開催。	教区内 推進員	京都教務所	2025/07/17	平原 晃宗
総会費 1(1)総会研修会 + 3(1)総会 = 【予：200,000円】				
(2)特区・地区研修会 推進員を中心とした聞法を開く。 毎年、特区+3地区で開催。 2025年度開催検討地区 ・長浜特区・湖西地区・山城地区・雲因地区	教区内 推進員 一般	湖西地区 新旭公民館	2026年 3月頃	未定
		山城地区 未定	未定	未定
		雲因地区 未定	未定	未定
		長浜特区 未定	未定	未定
【予：430,000円】				
(3)真宗同朋の会 全国交流研修会 全国交流研修会に京都教区として参加。	推進員	真宗本廟 同朋会館	2025年 10/8~10	吉元 信暁
【予：100,000円】				
(4)真宗同朋の会 近畿連区研修会 近畿連区研修会に京都教区として参加。	推進員	信貴山観光 ホテル	2026年 5/25~26	未定
【予：150,000円】				
(5)推進員再上山奉仕団 推進員の原点の一つである奉仕団を企画し上山する。出会いと交流の機会をつくり、つながりを深める。	教区内 推進員	真宗本廟 同朋会館	未定	未定

2. 会報制作事業

(1)会報発行 機関紙『光雲』を発行。広域教区において、誌面による報告・連絡を行う。毎号3,500部発行。	教区内 推進員 全寺院	—	発行日 2025/09/01 2026/01/01 2026/05/01	—
(2)全国推連協会報誌『羅網』 全推協より会報誌『羅網』を購入 (毎号3,500部)、発送	教区内 推進員 全寺院	—	発行日 2025/09/01 2026/01/01 2026/05/01	—
広報費 (1)+(2) = 【予：600,000円】				

3. 会議関連

<p>(1)総会 前年度事業報告ならびに収支決算報告、総括点検。新年度事業計画ならびに歳入歳出予算案の審議、議決。そのほか、教区推連協の運営にかかる議案の審議、議決。</p>	<p>教区推連協役員、代議員</p>	<p>京都教務所</p>	<p>2025/07/17</p>	<p>—</p>
<p>(2)役員会 庶務・調整・点検機関。 教区推連協における諸課題について協議検討する。学習と情報共有の機会となる事業を企画検討する。全国・連区・組との連絡調整を行う。 今後、各地区・組に対して常任委員さんの協力も得ながら巡回説明会を実施し教区推連協の活動に対するご理解を深めて頂く。</p>	<p>役員</p>	<p>京都教務所</p>	<p>適宜</p>	<p>—</p>
<p>(3)常任委員会 企画立案機関。 教区推連協における諸課題について協議検討する。学習と情報共有の機会となる事業を企画検討する。特区地区・組との連携を行う。広報活動を行う。機関紙『光雲』の編集を行う。</p>	<p>役員 常任委員</p>	<p>京都教務所</p>	<p>適宜 (年4回～5回)</p>	<p>—</p>
<p>(4)地区代表委員会 ・特区、地区の代表との連絡協議を行う。 ・常任委員会で検討された内容の確認と共有。長浜特区と8地区の代表との連絡協議を行う。 特区・地区代表者との連絡協議の場を設け、教区⇔特区・地区⇔組の連携の強化を目指す。</p>	<p>役員 常任委員 地区代表委員</p>	<p>京都教務所</p>	<p>未定</p>	<p>—</p>
<p style="text-align: right;">会議費 (1)+(2)+(3) = 【予：130,000円】</p>				

議案 第4号

2025年度 京都教区推進員連絡協議会 歳入・歳出予算書 (案)

令和7年7月1日～8年6月30日

勘定科目	2024年度決算額 (令和6年)	2025年度予算額 (令和7年)	予算増減額 (R6年度～R7年度)	摘要
01前期より繰越金	321,603	1,534,690	1,213,087	普通預金期首残高
02年会費	829,000	900,000	71,000	1千円×900名 報告会員見込み・活動協力金
03助成金	1,050,000	650,000	-400,000	京都教務所より
04交流研修会補助金	900,000	-	-900,000	今年度全国・連区担当研修会なし
05特別会費	2,214,300	120,000	-2,094,300	地区・特区研修会参加費 (3地区・長浜特区)
06雑収入	248,164	310	-247,854	預金利子等
07その他勘定繰入金	1,000,000	-	-1,000,000	旧長浜推連協より移管金(前期繰越残金に含まれる)
08各組負担金	-	-	-	
合 計	6,563,067	3,205,000	-3,358,067	

歳入の部

勘定科目	2024年度決算額 (令和6年)	2025年度予算額 (令和7年)	予算増減額 (R6年度～R7年度)	摘要
01総会費	74,530	200,000	125,470	総会席、講師謝礼金、交通費等
02会議費	102,375	130,000	27,625	各種会議の諸経費
03事務費	69,169	70,000	831	各種書類等の作成・印刷・北一代等
04通信費	42,673	50,000	7,327	各種通知文書発送料・切手代等
05広報費	564,225	600,000	35,775	機関誌「光雲」印刷、「羅網」購入・発送代 各3,5千部 年3回
06旅費交通費	318,578	380,000	61,422	三役会、常任委員会、地区・特区代表者会議等の旅費
07負担金	30,000	30,000	-	全推連協負担金 3万円
08教区研修費	279,029	430,000	150,971	地区・特区研修会費 (4会場)、その他研修事業等
09近畿連区交流研修費	-	150,000	150,000	近畿地区推連協交流研修会参加費補助 (担当大阪教区)
10全推連協交流研修費	2,997,260	100,000	-2,897,260	第30回 全国大会参加者補助 (担当九州教区・会場：同朋会館)
11調査研究費	63,223	100,000	36,777	各組推協立ち上げ支援等
12雑費	3,240	10,000	6,760	送金手数料等
13役職者手当費	150,000	150,000	-	会長4万円 副会長2万円×2 会計 2万円 常任委員1万×4 監事5千円×2
14予備費	-	805,000	805,000	計画外の事業出費等
15その他勘定繰出金	334,075	-	-334,075	今年度予定なし
費用 計	5,028,377	3,205,000	-1,823,377	
17次年度へ繰越額	1,534,690	-	-1,534,690	普通預金期末残高と一致
合 計	6,563,067	3,205,000	-3,358,067	

歳出の部

京都教区 推進員連絡協議会規則

(名称及び設置)

第1条 本会は、京都教区推進員連絡協議会と称し、事務所を京都教務所に置く。

(目的)

第2条 本会は、真宗同朋会条例に基づき、同朋会の趣旨の徹底及びその推進に当たる。それぞれの寺院、組、特区、地区及び教区における同朋の会の充実と発展を期し、推進員の連携を図り、連絡調整及び必要な事業を行うことを目的とする。

(会員)

第3条 本会の会員は、教区内の推進員教習修了者をもって組織する。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的達成のために、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 聞法会（学習会、研修会、本廟奉仕の実施）
- (2) 組推進員連絡協議会との連絡調整
- (3) 連区及び全国推進員連絡協議会との連携並びに連絡調整
- (4) 会報の発行
- (5) その他必要な事項

(代議員)

第5条 本会は、第4条の事業を企画立案し円滑に運営できるよう、代議員を各組より1人選出する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置き、代議員の中から互選により選出する。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 会計 1人
- (4) 常任委員 4人
- (5) 監事 2人
- (6) 地区代表委員 10人

- 2 会長は、本会を代表して会務を統理し、連区及び全国の関係協議会に必要な応じて出席する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、分担して庶務を掌理する。なお、会長に事故あるときはあらかじめ会長が指名した副会長がその職務を代理する。
- 4 会計は、会計事務を担当する。
- 5 常任委員は、資料収集、組織拡充、会報の発行等に従事する。
- 6 監事は、本会の業務及び会計を監査し、総会に報告する。
- 7 地区代表委員は、地区との連携を図るものとする。

(任期)

第7条 前条で規定する役員の前任期は、3年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補充による役員の前任期は、前任者の残任期間とする。

(総会)

第8条 本会の事業報告及び決算の承認、並びに事業計画及び予算、その他必要な事項について決定するため、年1回総会を開催する。

- 2 総会は、第5条に定める代議員によって構成する。
- 3 総会は、代議員の半数以上の出席がなければ会議を開き議決することができない。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(常任委員会)

第9条 組推進員連絡協議会の相互の十分な連携のもとに、第4条で規定する事業を円滑に遂行するため、本会に常任委員会を置く。

2 常任委員会は、第6条第1項第1号から第4号に掲げる役員で構成する。

3 常任委員会は、次の各号に掲げる事項を付議する。

(1) 総会から委任された事項

(2) 総会を開催するいとまのない臨時緊急の事項

(3) その他会長が必要と認めた事項

(地区代表委員会)

第10条 常任委員会の審議結果を確認・共有し、各地区との連携を図り、次の総会に報告するため、地区代表委員会を置く。

2 地区代表委員会は、地区代表委員及び第6条第1項第1号から第4号に掲げる役員で構成する。

(招集)

第11条 諸会議は、会長が必要に応じて招集する。

(職員の出席)

第12条 教務所の職員は、何時でも会議に出席して意見を述べることができる。

(会計)

第13条 本会の会計の予算は、会費及び助成金並びにその他の収入をもって歳入とし、研修費及び会議費並びにその他の支出をもって歳出とする。

2 会費は、毎年10月31日までに納入するものとする。

3 会計年度は、7月1日に始まり、翌年6月30日に終わるものとする。

(規則の変更)

第14条 この規則を変更しようとするときは、半数以上の代議員が出席した総会において、出席者の過半数の同意を得なければならない。

附 則

この規則は、教務所長の承認を得て、2024年7月1日から施行する。

【規則の運用申し合わせ】

(総会出席者)

1 総会は、第8条に規定される通り、各組より選出された代議員によって構成する。ただし、組推進員連絡協議会から会長以外が代議員に選出された場合、組推進員連絡協議会会長は総会にオブザーバーとして参加することができる。議決権は持たない。

2 組推進員連絡協議会がなく、該当組から代議員を選出できない場合、組長が代議員代理として総会に出席することができ、議決権を有する。

(男女共同参画)

3 男女共同参画の視点から、女性代議員を別途2名まで指名できる。教区内推進員より常任委員会が選定し、会長が任命する。

4 男女共同参画の視点から、副会長のうち1名は女性とする。

5 男女共同参画の視点から、女性代議員を常任委員として別途指名できる。

この申し合わせは2024年度役員会で行われ、2025年度総会で議決し、2027年6月末日まで運用する。